

2024年度 フィールドスタディD 北海道 活動報告書

訪問先：北海道

活動期間：2024年9月24日（火）～9月26日（木）

研究テーマ

- A チーム 日本企業におけるこれからの人材確保
- B チーム 中国で採用されている「信用スコア」を日本企業の採用活動に取り入れることへの考察
- C チーム 日中のエンゲージメント向上施策
- D チーム 日中人事評価システム比較と日本の動向

【9月24日（火）】札幌ビール園 翌日の発表準備

サッポロビール園を見学して学んだことは、ビールの歴史と製造工程についての理解が深まったことだ。まず、サッポロビールの創業は1876年に遡り、日本で最初に本格的なビール製造が始まったことを知った。北海道の豊かな自然環境と、ドイツから学んだ製法が、品質の高いビール作りを支えている点が印象的であった。。また、見学を通じて、麦芽の仕込み、発酵、熟成、ろ過といった製造工程の一つひとつが丁寧に行われていることを学んだ。特に、発酵の過程で酵母がどのように働き、ビールの味わいや香りに影響を与えるのかという説明が興味深かった。さらに、サッポロビールが地元の農産物を活用し、環境に配慮した取り組みを行っている点にも感銘を受けた。この見学を通じて、ビールが単なる飲み物ではなく、地域の歴史や文化と密接に結びついた存在であることを実感した。また、サッポロビール園見学後には、小樽商科大学での発表に備えた準備をした。各班で発表を聞きあい、互いにアドバイスし合う事に加えて、郭先生から厳しい言葉をいただき、ゼミプレゼンテーションへの取り組み方をゼミ全体で考え直した時間でもあった。

【9月25日（水）】田中酒造見学 小樽商科大学との発表会

翌日、フィールドスタディDの履修者全員は田中酒造に見学に行った。

田中酒造では、酒蔵見学後、各班のテーマに合わせた質問を行なった。社員数が40人と少ないことから明確な人事評価などを設けにくい反面、1人1人とのコミュニケーションを大事にしていることがわかった。

田中酒造見学後、小樽市内にて昼食をとり、小樽商科大学に行き、先方の先生に発表を聞いていただき、フィードバックをいただいた。

どの班も研究内容と視点については誉められたが、研究の浅さを指摘された。

発表後、ホテルにて各班それぞれフィードバックを受けての反省会を行った。



【9月26日（木）】発表、研究整理と反省会

朝9時から、各班は発表を開始し、見学の内容と自分の研究テーマを結びつけて、今回の学習成果を報告した。この機会を通じて、皆が意見を交換し合い、互いに学び、研究に関して多くの新しい視点を広げることができた。今後も機会があれば、引き続き協力し学び合いたいと思った。合同研究発表会が終了した後、北海道から東京に帰り、今回のフィールドスタディを無事に終えることができた。

学生はこの貴重な学習機会と体験を通じて、企業経営についてより深く理解し、研究への熱意が大いに高まった。ご協力してくださった企業の皆さま、いろいろと応援して下さった方々にこの場をお借りして改めて謝意を述べたい。ありがとうございました。

以上

カク 燕書 専任教授